



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

目黒碑文谷雲母保育園



テーマ【 栽培 】

設定した理由・背景

昨年度は園内の屋上等で育ててみたい野菜を決め、栽培活動を行った。その際に子どもが育ててみたいと話す野菜の種類が多く、園内で育てられる種類にも限りがある為、今年度は園から歩いて通うことのできるシェア畑を1年間契約し活動を行った。様々な野菜に興味を持つだけでなく、どのように育てるのか、その実はどのように実って成長していくのかを話す姿も活動に繋がった。

用意した環境設定

- ・シェア畑（東京都目黒区東が丘1-2-1の南側）
- ・野菜の苗
- ・画用紙
- ・採取用の袋

活動のあゆみ

令和7年4月1日～令和8年3月30日

- ・1年間シェア畑を契約し、四季それぞれの野菜を育てることで食育に繋がるように活動を行った。各週で担当クラスを決め、順番に畑に訪問した。幼児クラスでは、畑で活動を行った際に、絵日記を付けた。
- ・イチゴ、キュウリ、ミニトマト、大根、カリフラワー、芽キャベツ等

✧探究活動の実績✧

1年間を通して、自分たちで育てたい野菜をそれぞれの季節で選び育てていった。幼児クラスだけでなく、乳児クラスの児も畑での食育活動を行うことができるように、各週ごとに畑に行くクラスを決めた。自分たちが普段食べている食材の葉っぱの形や、実り方、色や大きさが成長するごとにどのように変化していくかを栽培活動を通して探究した。幼児クラスでは、水やりや植え付けだけでなく草抜きや間引きといった活動も行うことができた。また、活動内容やその時の気づきを絵日記に記録し、畑の成長記録を付けることで年間を通しての育ちを探究することができた。園での食事の際には、自分たちが育てている野菜だからと苦手な児も挑戦して食べてみるきっかけとなった。普段何気なく食している食材たちがどのように作られているかだけでなく、育ててくれている人がいるから、自分たちが美味しい食事ができているという背景にも気づくことができた。



カリフラワーを
収穫



畑の名前を自分
たちで決めて
プレート作り



みんなが絶対に育てたい
と決めた大根の収穫

まとめ

1年間を通して、植えつけから収穫までを見守りどのように食材が育っているのかを実際に見たり、体験したりすることができたように思う。四季それぞれの野菜を育てた中で夏場は気温が高く、戸外での活動が難しい日があったので職員が順番に畑の管理を行った。各乳児クラスも体験できたことは良い食育活動に繋がったように思う。畑で育てている野菜に関しては、給食で出てくると苦手な児も自分達でも育てているからと挑戦して食べる姿も見られ、よい活動になったのではないかと感じる事が多く見られた。



とうきょう すくわくプログラム
2025年度活動報告書
目黒碑文谷雲母保育園



テーマ【 言葉 】

設定した理由・背景

英語に触れると日常の中で英語であいさつしたり、知った単語を使って会話したりする姿が見られた。また、英語の際に知った音楽を口ずさんでダンスを楽しんでいた。そのような姿から継続して行っていくことでより知識を深め、学びに繋がっていくのではないかと考えた。

用意した環境設定

- ・ノートPC
- ・英語の絵本
- ・プロジェクター
- ・ワールドライブラリー
- ・プロジェクタースクリーン
- ・世界地図
- ・オンラインレッスン用カメラ
- ・国旗の塗り絵

活動のあゆみ

令和7年4月1日～令和8年3月30日

9：40～9：55 4歳児

10：00～10：15 5歳児

毎週月・水・金の週3日ずつ行った。

- ・毎月英語で担当の先生に質問したり、カード、ワークシートを使用して習得した英単語を応用した。
- ・世界の衣服、お祭り、食べ物についての調査、探究活動を取り入れた。

✽探究活動の実績✽

英語がある曜日を把握し、時間になると「今日は英語がある日だね」と準備に自ら取り組む姿が見られた。レッスンの中では、質問コーナーがあり、自分たちも英語で会話したいという気持ちが強まり時間までに一緒に質問文を考えた。保育中には、好きな色を聞く時にはどんな単語を使用していたか、動物を表す英単語は何かなど得た知識を思い出して英文を作ったり、質問に必要な英単語を一緒に調べたりした。また英語の歌を覚えて英語で歌ったり学んだ単語を日々の活動の中で使用したりして会話するなど昨年度からの継続による身に付いた力のように感じた。世界の衣服、お祭り、食べ物について知ることができ自分たちが暮らしている日本との違いに気付くことのできる時間となった。1年間英語に触れることで、散歩中に出会った外国の人に英語で挨拶したり、英語を日常的に使ったりするなど今までにはなかった姿が見られるようになった。



雨の日に英語で学んだダンスに取り組み中

英語教室は楽しくて毎度笑顔いっぱい



まとめ

英語そのものや異文化の探究活動を楽しみにしている姿が年間を通して見られた。積極的に質問するだけでなく、質問文の英文を家で考えてから登園する等自主的に学ぼうとする姿は昨年度には見られなかった成長した点のように思う。1年間を通して活動を行えたことで、学ぶことのできた単語が増えただけなく日常的に使用できる場面も増えた。来年度も継続して行うことでより知識や学びを深めることができるのではないかとと思う。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

目黒碑文谷雲母保育園



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

テーマ【 自然 】

設定した理由・背景

日々の戸外活動の中で、自然に触れるだけでなく、自分から様々なことを疑問を抱いたり、積極的に調べたりしようとする機会が増えた。日々の戸外活動だけでなく、奥多摩での探究を通して、より探究心を深められるのではないかと考えたため。

用意した環境設定

- ・奥多摩探究（探索、川遊び）
- ・図鑑
- ・虫かご
- ・虫網

活動のあゆみ

令和7年4月1日～令和8年3月30日

（奥多摩探究 5歳児 令和7年8月5日、6日）

・1年間を通して戸外活動中に様々な自然に触れ、図鑑などの資料を通して自ら調べたり積極的に触れたりする。奥多摩探究では、山や川などでしか見つけることのできない自然に触れていく。また、図書館で必要な資料を借りて自分たちでさらに調べてみようとする。

✽探究活動の実績✽

1年間を通して、様々な自然に触れることができた。さらに奥多摩探究の2日間では、普段の生活ではなかなか触れることのできない川ならではの生き物や山間部に生息する生き物に触れることができた。園周辺の公園で出会う生き物も山では大きさの異なるものが多々存在しており、「栄養が沢山あるのかな」と子どもたちのなかで更なる疑問や自分たちの考えが会話の中で見受けられた。キャンプ場での探索中に見つけた草花を押し花にして持ち帰ると、帰園後に保育室にある図鑑で調べたり、週末に自宅付近で探してみたりしていた。押し花活動を行ったことで、お泊り保育後の戸外活動後にも採取して持ち帰った草花を使用してオリジナルの押し花を行い、しおりにしている姿も見られた。虫取りや草花の採取を好んで遊ぶことが多かったが、奥多摩探究やそれに関する活動を通して、よりその遊びの先を自分たちで展開していく事が出来るようになった。



オタマジャクシを
たくさん見つけま
した



山の土の中
にいる生き物を
夢中になって探
しました



保育園の近くの公園よ
りも大きなミミズを
見つけました

まとめ

奥多摩探究を通して、その後の戸外活動がより発展したように思う。自ら好んで虫取りや草花の採取を行っていたが、より興味を持って行うようになったり自ら調べたり、採取した物を使用して遊んだりする機会が増えた。自分で興味を持って調べたことは、会話の中で他児に対して詳しく説明する姿からより知識としてきちんと身に付いていることを実感した。川遊びや山中での探索活動は奥多摩探究ならではの活動になってくるので、年長児の行事としてよい探究の機会となっているように思う。経験したことを更なる探究に繋げていけるように活動を保育者が工夫していくようにしたい。